会　議　録

１　会議名

令和７年度第１回三和区地域協議会

２　議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

・廃校利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の実施について

(2) 自主的な審議（公開）

・自主的審議事項について

(3) その他（公開）

３　開催日時

令和７年４月２８日（月）午後６時３０分から午後７時３５分まで

４　開催場所

三和コミュニティプラザ　３階　多目的ホール

５　傍聴人の数

１人

６　非公開の理由

―

７　出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委　員：髙橋（鉄）委員（会長）、龍池委員（副会長）、五十嵐委員、池田委員、江口委員、髙橋（恵）委員、星野委員、松井委員、松栄委員、宮澤委員、宮嶋委員、茂木委員（１４人中１２人出席）

・事務局：三和区総合事務所　小林所長、丸田次長、羽深市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、小山地域振興班長、大塚主任

８　発言の内容（要旨）

【丸田次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第８条第２項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第８条第１項の規定により、議長は会長が務める

【髙橋会長】

・挨拶

会議録の確認について、「松栄委員」にお願いする。

それでは、「３　報告事項」に入る。「廃校利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の実施について」事務局から説明をお願いする。

【丸田次長】

この件に関しては、前回３月の地域協議会で前もって少し話しをして、委員の皆様に資料も送付させていただいた。今日は、改めて資料を見ながら説明をさせていただく。

・資料№.１により説明

【髙橋会長】

質問等あるか。

【松井委員】

調査の参加資格について、自ら資金を用意できる法人等とあるが、参加資格の審査方法はどのようなものか。

【丸田次長】

既に説明会は実施され、参加者は概ね２４の法人、あるいは個人もいたと聞いている。説明会に関しては、聞きたいという方にはオープンに実施されたと思っている。ただ、今後、どのような審査があるのかは担当課に確認しないと分からない。

【松井委員】

事業をするには資金が必要である。事業者選定の際は、事業工程に裏付けされた資金調達について、しっかりチェックしていただきたい。

【丸田次長】

そのような意見があったということは、担当課へ伝える。

【髙橋会長】

他に質問等あるか。

【宮澤委員】

１５の廃校が対象となっているが、今まで何か理由があってこのままの状態にしておいたのか。もっと早くこのようなことをすべきだったのではないか。

【丸田次長】

学校施設の利活用には、多額の費用がかかるなどの課題があり、前進してこなかった。

今回改めて民間の力を借りて、どういう活用方法があるのか具体的に調査するため動き出したということで、ご理解をいただきたい。

【髙橋会長】

他に質問等あるか。

（なし）

【髙橋会長】

次に、「２　自主的な審議」に入る。資料№.２をご覧いただきたい。２つの自主的審議事項について事務局と相談し、案として提示した。この「件名」「概要」でよいか意見を伺う。

・審議事項１の「件名」「概要」を読み上げ

【松井委員】

「件名」について、「持続可能な『農業』」という限定された言葉は今の段階では好ましくないのではないか。

【髙橋会長】

「件名」について、「農業」でなければ「地域」というような言葉が置き換えられるかもしれないが、この辺を含めて皆さんの意見を伺いたい。

【茂木委員】

審議事項１の文言を「持続可能な地域を目指す取組」とすると、審議事項２の「地域コミュニティを維持するための仕組みづくり」と同じような意味になる。そうするとテーマは２つではなく、１つになるのではないか。

【松井委員】

このタイトルに、現段階で拘る必要はないのではないか。今日の状況で、総論的なものを２つに分けるというのがいいのではないか。

【髙橋会長】

前回の会議で、Ａグループは、例えば農業を通してイベントをしながら地域を盛り上げたいという提案がまずあったが、具体的なものよりイベントも含めたもっと大きな括りの捉え方をしていただければいいのではないかなと思う。

【五十嵐委員】

「土地を荒らさずに持続可能な農業を目指す取組」と書かれているが、これが果たしてできるのかどうか、文言が引っかかる。山場の農地だけではなく、平場の条件が良い

ところでも、どんどん荒廃しているのが現状だ。

【丸田次長】

五十嵐委員が言うように、山手の方からどんどん耕作放棄地が多くなってきているという実態だが、平場でも耕作放棄地が増えるというようなことがないようにしたい。新しく農業を始める人を増やしたり、農業のやりがいを感じてもらったりするために収穫祭のような具体的なイベントをすればよいが、大きな課題としては「持続可能な農業を目指す取組」はどうかと考えたところである。

【龍池委員】

自然環境を守っていくための一つの方法として農業があると考えたときに、「農業」を入れたほうがポイントにはなるが、この言葉を入れないほうがいいのであれば、今日、皆さんと考えたい。おそらく、審議事項２は、農業とか自然環境関連ではない。やはり前回、ＡグループとＢグループに分かれた根本的なところは、自然環境、子どもたちのために自然を守りたいと考えている方々がＡグループに集まったと思うので、そこを今日、皆さんどういうことを考えてきたのかを聞いて、具体的に文章にしていくという方法をとったらどうか。

【髙橋会長】

他はあるか。

【茂木委員】

龍池副会長の発言のとおり、前回の協議会で自分たちがやりたいのはどっちだというふうに挙手して選択した。その時点で、この２つの審議事項、「自然環境・農業」か「地域コミィニティーの維持」かを選択したはずである。やりたいことを自分たちで選択したはずであり、これをまた一から話し合うというのはどうか。

【髙橋会長】

他にあるか。

（なし）

【髙橋会長】

なければ、ここで決定したいと思う。審議事項１について、案のとおりで賛成の方は挙手をお願いする。

（賛成多数）

【髙橋会長】

賛成多数のため、審議事項１はこのとおり決定する。

【髙橋会長】

審議事項２に入る。

・審議事項２の「件名」「概要」を読み上げ

【星野委員】

前回、「『区を越えた地域協議会代表者との懇談会や勉強会』の実施」と提案した。概要の「さまざまな」を「区を越えた」ということにしていただけないか。区を越えて結びつけをしようという内容が全然なくなっている気がするがいかがか。

【茂木委員】

区を越えてという話も考えられるが、今の三和の中の防災の状況を見ていくのはどうかという意見も出たので、限定したつもりはまだなかった。全体でもそれが決定したとは思っていなかった。

【星野委員】

「さまざまな」の中に区を越えたという意見もプラスしてもらえれば、よりはっきりとしてくる。「さまざまな」という文言をもう少し広げた意味にしていただければと思う。

【茂木委員】

「さまざま」の中に、「区を越えた」も含まれると思うので、あえて「区を越えた」と入れる必要性はないと感じるが、その文言を入れるのはなぜか。

【星野委員】

文言で目的をはっきりさせた方がいいと思っているが、「さまざまな」のところで「区を越えた」ということも入るということが皆で認識されているのであれば、結構かと思う。

【髙橋会長】

皆さんからも参加いただいた「三和区地域福祉活動計画ブロック別懇談会」が４月２０日で全て終了したが、そこで健康づくりや防災などさまざまな意見が出ていた。それもここに含まれているという受け止め方をしていだたければと思う。

【松井委員】

「区を越えた」とか、そういう文言に拘る必要はないと思う。自主的審議を進める中で、こういうことだけはやろうじゃないかという絞り込みをして、区を越えた状況の中で検討しようという方向性になれば、課題について検討してそれを実施すればいい。

【髙橋会長】

文言に表れていない課題も含めて協議していただき、場合によっては他団体との意見交換、あるいは地域を越えた連携、これも地域を守っていく、進んでいくあり方である。なので、あまり文言にもとらわれないで、自由に発言できるようにしていきたい。

他にあるか。

（なし）

【髙橋会長】

なければ、ここで決定したいと思う。審議事項２について、案のとおりで賛成の方は挙手をお願いする。

（賛成多数）

【髙橋会長】

賛成多数のため、審議事項２もこのとおり決定する。以上で「自主的審議事項について」を終了する。なお、財源を求めて令和８年度に地域独自の予算事業として実施したい場合は、今年の８月末までに提案する必要があるので、そこを認識して進めていただきたい。

【髙橋会長】

それでは、「５　その他」に入る。池田委員と江口委員から発言の申し出がある。

【池田委員】

・日和町のフラワーパークの紹介

【江口委員】

・林富永邸春の一般公開とサポーターズクラブ会員募集の案内

【髙橋会長】

私の方から報告する。３月２７日に、直江津学びの交流館で地域協議会会長会議が開催された。内容は地域協議会の今後の在り方など、地域自治推進プロジェクトにおける各検討項目の方策案等について、現時点での説明があった。これに関して、事務局から今後の予定等連絡はあるか。

【丸田次長】

来月、研修会として、地域政策課による地域自治推進プロジェクトにおける各検討項目の方策案についての説明と委員の皆さんとの意見交換をさせていただきたいと考えている。

【髙橋会長】

それと、先ほども話したが「三和区地域福祉活動計画ブロック別懇談会」が全て終了した。これからの流れだが、今年度、地域協議会、町内会長協議会、民生委員、児童委員の方々と合同の会議体を設ける運びになっている。そして、令和８年度には、三和区にある障害施設、福祉施設の方々との合同の全体会議という方向性が今出ている。そして、もう既に事務局でさまざまな出た意見を資料として作っている。これから我々が自主的審議に向かうのにも非常に役立つ情報がたくさんあると思うので、地域協議会もそれを取り入れながら、皆さんで進んでいきたいと思っている。

また、５月１７日に上越市合併２０周年記念式典がオーレンプラザで開催される。皆さんの代表として招待を受けたので出席する予定である。

その他、事務局から連絡がある。

【丸田次長】

２点ほど連絡をさせていただく。

１点目、今年度の三和区総合事務所組織体制について、４月１日付け人事異動により職員４名の入れ替わりがあり、事務局の地域振興班に大塚主任が来たので挨拶させていただく。

（大塚主任 挨拶）

【丸田次長】

２点目、旧謎蔵・旧米本陣の医療福祉施設転換の開始時期延期に関する住民説明会の開催について、三和区だより４月２５日号で周知しているが、改めて案内をさせていただく。旧謎蔵と旧本陣については、それぞれ令和２年と令和４年に土地と建物を民間事業者であるアグリケアに譲渡しており、この譲渡した施設を有床診療所や有料老人ホームといった医療福祉施設に転換する計画としていたが、市と契約している令和７年度末までの事業開始が再び遅れる見通しとなり、再度事業開始期限の延長について申し入れを受けているところである。これらの経過や今後の見通しなどについて、改めて住民の皆様に説明させていただきたいとの事業者からの申し入れを受け、５月１９日に住民説明会をこの場所で開催することとした。関心のある方はご来場いただきたい。

【星野委員】

来月の地域自治推進プロジェクトの説明資料を事前に送付してほしい。

【小林所長】

資料は事前配布を予定しているので、一読いただき出席いただきたいと思う。

【髙橋会長】

他にあるか。

【松栄委員】

・三和区青少年育成会議の活動状況等を紹介

【髙橋会長】

「６　次回地域協議会」について、事務局からお願いする。

【丸田次長】

５月は今のところ協議事項や報告事項等の予定がないので、先ほどもふれたが、研修会として、地域自治推進プロジェクトにおける各検討項目の方策案についての説明と意見交換を実施したいと考えている。開催日だが、５月２６日の月曜日でいかがか。

【髙橋会長】

・日程調整

・５月２６日（月）、午後６時３０分からに決定

【丸田次長】

もう１点、前々から話をいただいている、上越市創造行政研究所から講師を招いての研修の件だが、会長等とも相談させていただいた結果、地域協議会の委員だけではなく一般の皆様からも来ていただけるような形をとることになった。そうした場合、周知期間が必要となるため、来月の三和区だよりで周知した後ということで、６月中旬で調整をしているが、具体的な日程を今日決めたい。６月１６日月曜日、１８時３０分からでいかがか。

【髙橋会長】

・日程調整

・６月１６日（月）、午後６時３０分からに決定

【丸田次長】

なお、６月の地域協議会だが、議題の状況によってになるが、できるようだったら同日に開催したいと思う。

【髙橋会長】

以上で、本日の地域協議会を終了する。

【龍池副会長】

・挨拶

・会議の閉会を宣言

9　問合せ先

三和区総合事務所　総務・地域振興グループ　TEL：025-532-2323（内線215）

E-mail：sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。